

◆ 東京都立足立新田高等学校(公立)

○受講生徒:普通科3年生(1クラス計40名)

○使用時間:2コマ(50分×2)

○充当教科:家庭科家庭総合

○授業のねらい:・社会保障制度を税金(社会保険料)の側から見つめ、国の制度が私たちの生活をどのような形で支えているかを考えながら、理解を深める。

○使用教材:①映像教材

②身近な社会保障ワークシート

③足立新田高校版オリジナル教材(教材②を基に作成)

【1限目】

展開	内容	使用教材
10分	<p>今の社会保障制度が出来た経緯を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントをスクリーンに投影して授業を展開。</li> <li>・「ありとぎりぎりす」「三匹のこぶた」「フランダースの犬」を紹介して、社会保障制度というものが全くない状況を理解させる。</li> <li>・1850年代の会話から社会保障制度の役割を確認させる。</li> </ul>	オリジナル教材
30分	<p>社会保険の種類を確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険にはどのようなものがあるのかを生徒に書かせながら確認させる。</li> <li>・家計を考えさせる。</li> <li>・社会人になったら得る給料から家計を考えさせる。</li> <li>・可処分所得・税金・社会保険料を確認させる。</li> <li>・「身近な社会保障ワークシート」の「社会の一員として生きていくこととは」を使い、自立した一人暮らしのやりくりについて考えさせる。</li> <li>・ワークシート記入後は生徒に、どのような結果になったかを答えさせる。</li> </ul>	オリジナル教材 身近な社会保障 ワークシート
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生における社会保障制度を学習させる。</li> </ul> <p>「身近な社会保障ワークシート」の「私たちの生活と社会保障」を使い、生徒に考えさせる。</p>	身近な社会保障 ワークシート

【2限目】

展開	内容	使用教材
20分	<p>給付と負担の関係性を学習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近な社会保障ワークシート」の「ライフサイクルでみた社会保障の給付と負担のイメージ」を使い、給付と負担について学習させる。</li> <li>・高齢期になると給付の割合が大きくなり増え、全体で見ると負担が少ないことを理解させる。</li> </ul> <p>年金の基礎知識とメリットを学習させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近な社会保障ワークシート」の「高校生として必ず押さえておきたい“年金の基礎知識”と高校生として必ず押さえておきたい“公的年金のメリット”」を使い、学習させる。</li> <li>・物価の変動を知ること、公的年金がリスクへ備えていることを理解させる。</li> </ul>	身近な社会保障ワークシート
25分	<p>映像教材を視聴させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの授業で学んだことを振り返りながら映像教材を視聴させる。</li> </ul>	映像教材
5分	<p>学習のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートに記入させながら、考えをまとめさせる。</li> </ul>	

(参考)授業を担当した教師や受託会社の授業後の感想(「地域社会保障推進事業実施報告書」より)

効果的だったと思われる点	<p>○パワーポイントで授業を展開したことで、分かりやすいと感じる生徒が多かった。アンケートでも、授業の良かった点としてこの点を挙げる生徒が多数見られた。</p> <p>○まずは制度についての学習から入り、それがどのように生活に関わってくるのかを学習していった事で、制度の必要性、仕組みについて理解を深めることができた。90%の生徒が理解できたと回答しており、「今の日本の制度は、丁度良いと思った」、「社会保障は、これからの将来を考えると必要な制度だとおもいました」、「社会保障制度がどんなものなのか、知ることができて良かったです」など、制度についての言及が多く見られる。</p>
問題点等	<p>○2時間続けての授業であり、前回の振り返りなどの時間が無かったので、性急な感じがあった。実際、生徒のアンケートでも、「もう少しゆっくり知りたい」、「内容が複雑」といった回答も見られた。少し戻りつつ学習すると、更に生徒の理解が得られるのではないかと思われた。</p>